

## 2 事業所数

### (1) 概況

平成19年の事業所数は1,873事業所で、前年に比べ6事業所増加（前年比0.3%増）した。（表4）

### (2) 業種別状況

産業中分類24業種のうち、前年に比べ増加したのは一般機械、電気機器等10業種で、減少したのは食料品、木材等8業種であった。なお、横ばいはパルプ・紙等の6業種であった。

また、業種別構成では、食料品(19.8%)、木材(10.3%)、窯業・土石(8.9%)、一般機械(8.0%)、金属製品(7.4%)、の順に大きく、これら5業種で全体の半数強(54.0%)を占めている。

（表4、図2、図3）

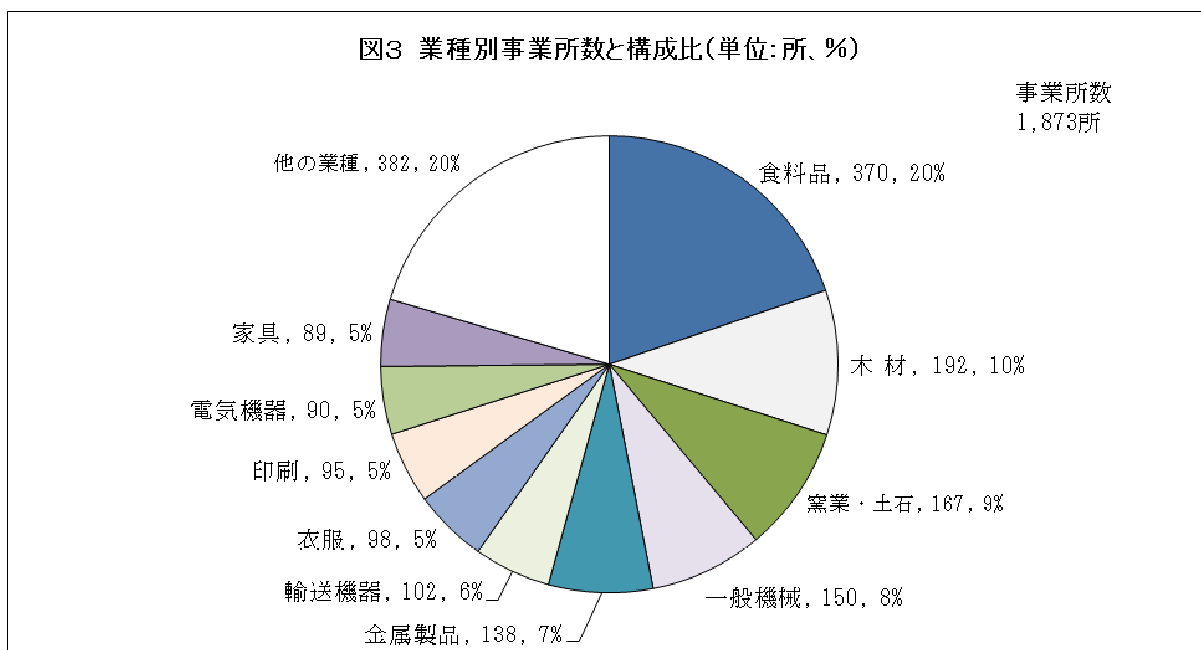
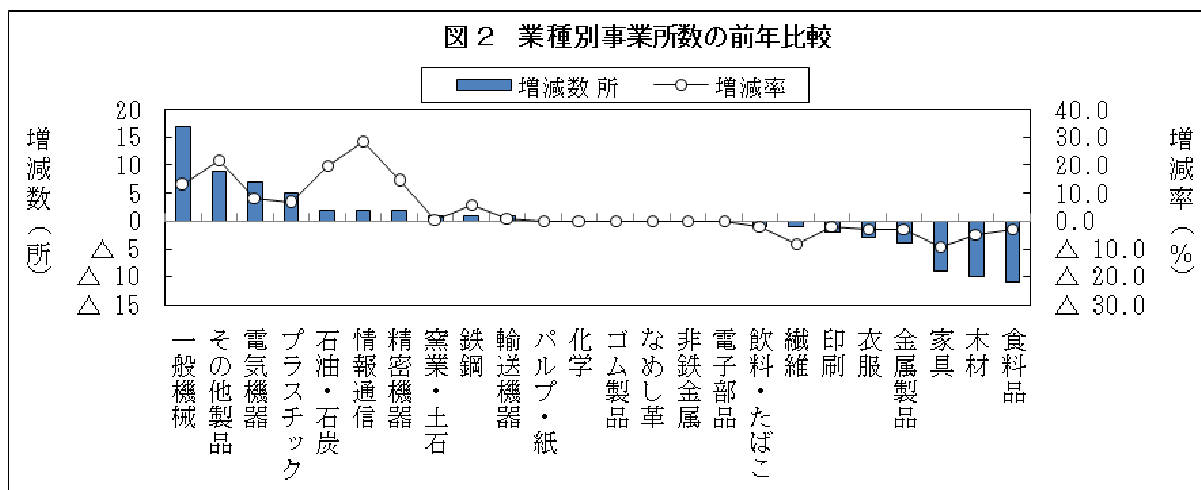


表4 業種別事業所数（従業者4人以上）

産業細分類	18年		19年			
	所	構成比 %	所	増減数 所	増減率 %	構成比 %
総数	1,867	100.0	1,873	6	0.3	100.0
09 食料品	381	20.4	370	△ 11	△ 2.9	19.8
10 飲料・たばこ	56	3.0	55	△ 1	△ 1.8	2.9
11 繊維	12	0.6	11	△ 1	△ 8.3	0.6
12 衣服	101	5.4	98	△ 3	△ 3.0	5.2
13 木材	202	10.8	192	△ 10	△ 5.0	10.3
14 家具	98	5.2	89	△ 9	△ 9.2	4.8
15 パルプ・紙	24	1.3	24	0	0.0	1.3
16 印刷	97	5.2	95	△ 2	△ 2.1	5.1
17 化学	39	2.1	39	0	0.0	2.1
18 石油・石炭	10	0.5	12	2	20.0	0.6
19 プラスチック	77	4.1	82	5	6.5	4.4
20 ゴム製品	14	0.7	14	0	0.0	0.7
21 なめし革	3	0.2	3	0	0.0	0.2
22 窯業・土石	166	8.9	167	1	0.6	8.9
23 鉄鋼	17	0.9	18	1	5.9	1.0
24 非鉄金属	15	0.8	15	0	0.0	0.8
25 金属製品	142	7.6	138	△ 4	△ 2.8	7.4
26 一般機械	133	7.1	150	17	12.8	8.0
27 電気機器	83	4.4	90	7	8.4	4.8
28 情報通信	7	0.4	9	2	28.6	0.5
29 電子部品	34	1.8	34	0	0.0	1.8
30 輸送機器	101	5.4	102	1	1.0	5.4
31 精密機器	14	0.7	16	2	14.3	0.9
32 その他製品	41	2.2	50	9	22.0	2.7

### (3) 従業者規模別状況

事業所数は大規模層、中規模層で前年より増加したが、小規模層で減少となった。

・規模別構成比	小規模層（4～29人）	76.3%	（1,429事業所）
	中規模層（30～299人）	21.6%	（405事業所）
	大規模層（300人以上）	2.1%	（39事業所）

（表5、図4）

図4 事業所数の従業者規模別構成比の推移（従業者4人以上）

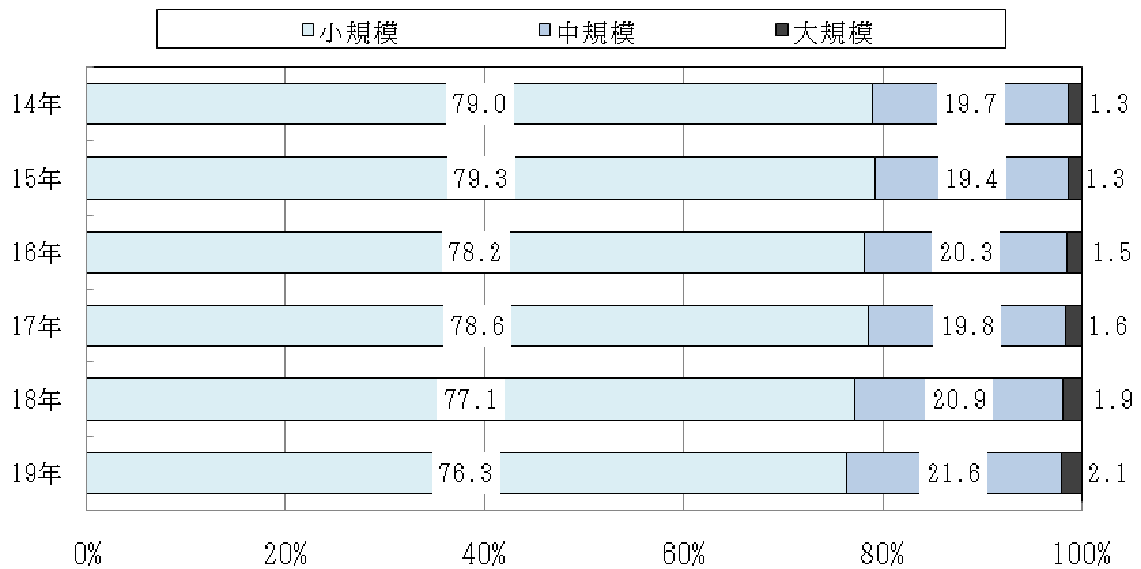


表5 従業者規模別事業所数（従業者4人以上）

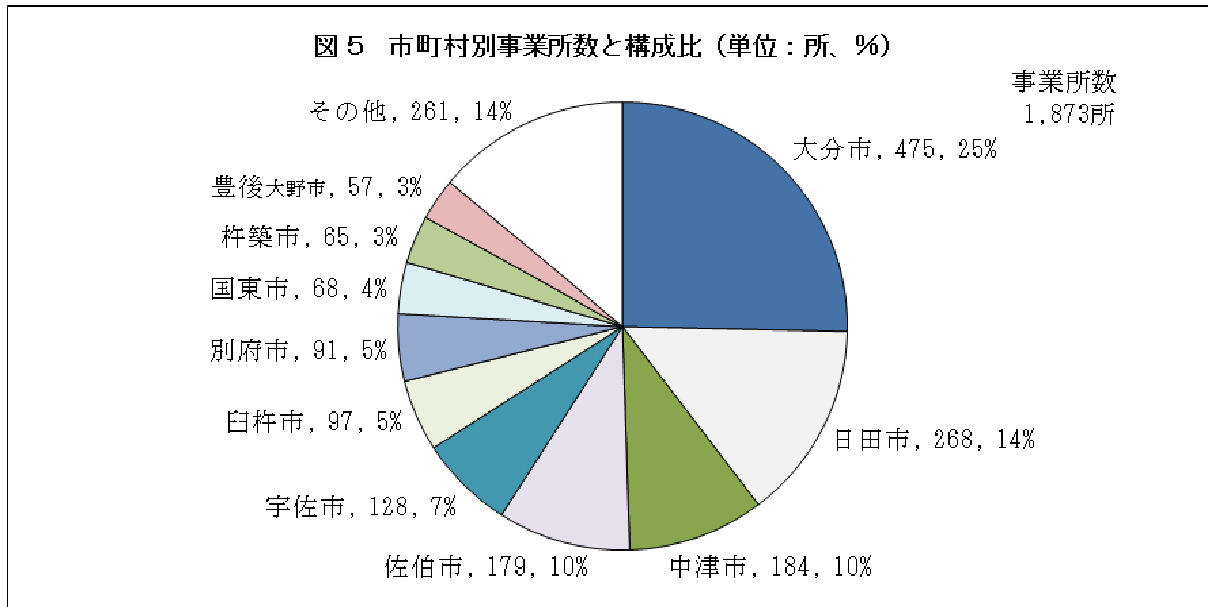
従業者規模別	18年	19年		増減率 %	構成比 %
	所	所	増減数 所		
総数	1,867	1,873	6	0.3	100.0
(小規模)	1440	1429	△ 11	△ 0.8	76.3
4～10人	744	733	△ 11	△ 1.5	39.1
10～19人	473	469	△ 4	△ 0.8	25.0
20～29人	223	227	4	1.8	12.1
(中規模)	391	405	14	3.6	21.6
30～49人	141	143	2	1.4	7.6
50～99人	157	157	0	0.0	8.4
100～199人	75	83	8	10.7	4.4
200～299人	18	22	4	22.2	1.2
(大規模)	36	39	3	8.3	2.1
300～499人	21	23	2	9.5	1.2
500～999人	12	11	△ 1	△ 8.3	0.6
1000人～	3	5	2	66.7	0.3

#### (4) 市町村別状況

前年に比べ増加したのは6市で、減少したのは7市2町、横ばいが3市町村であった。

また、市町村別構成では、大分市(25.4%)、日田市(14.3%)、中津市(9.8%)、佐伯市(9.6%)、の順に大きく、これらの4市で全体の6割弱(59.0%)を占めている。

(表3、図5)



#### (5) 地区別状況

中部地区を除いたすべての地区で前年より減少した。

(表3、図6)

